

# まちづくり分野 20年後の望ましい姿（案）

## 1. 審議会・小委員会での主な意見

- ①まちづくり分野では、住民参加の視点が非常に重要。
- ②まちづくりにおいて人と触れ合えるという台東区の強みを活かす必要がある。
- ③地域の人と人の繋がりが重要なので、コミュニティ強化が必要。
- ④台東区らしい景観を残しながら安全安心のまちづくりを進める必要がある。
- ⑤多様化する社会に対応するため、ユニバーサルデザイン・バリアフリーは重要。
- ⑥子供から高齢者、障害者など誰にでも優しい台東区のまちづくりが必要。
- ⑦若い世代の流入増を踏まえ、全世代が活躍できる繋がりのあるまちが理想。
- ⑧歩けるまちづくりを進めると、区の様々な分野の課題解決に繋がる。
- ⑨交通体系について、区内全体でバスだけでなく電車も拡げてもらいたい。
- ⑩電柱地中化については、防災の観点からもしっかりとやってもらいたい。
- ⑪建物の耐震対策を含めて防災対策を進めていった方が良い。
- ⑫台東区だけでなく、近隣の区とエリアとしての防災まちづくりが必要。
- ⑬空き家対策は耐震性や防犯の面からもこれからの課題。

## 2. 20年後の望ましい姿（案）

地域特性を活かした官民連携によるまちづくりが推進され、歴史、文化、産業や自然と調和した、活力と魅力あふれる個性豊かな街並みが創出されています。

また、ユニバーサルデザインのまちづくりや、花とみどりに囲まれた環境の整備・保全により、誰もが快適で暮らしやすい生活を享受しています。

さらに、建物の耐震化、不燃化などが一層推進されて、災害に強く、安全・安心な環境が整っています。

そして、誰もが憧れ、住みたい、働きたい、訪れたいと思える都市が形成されています。

# 防災防犯分野 20年後の望ましい姿（案）

## 1. 審議会・小委員会での主な意見

- ①ゲリラ豪雨や集中豪雨等の水害対策が大切。
- ②災害時には官民の情報連携やデータをどう活用していくかが重要。
- ③緊急医療救護所の立ち上げが課題。
- ④防災についてこれまでの町会では対応できない課題が出てくる。
- ⑤防災から減災という考え方にシフトしている自治体もある。
- ⑥技術革新を的確に捕え、災害時に活用してもらいたい。
- ⑦防災においては、区を越えた連携が必要。
- ⑧防犯カメラの設置は地域の防犯にとっても役立つ。
- ⑨犯罪が巧妙化しているので、障害者向けの教育も必要。
- ⑩大規模災害時の受援体制の確立、行政の継続性の確保がこれからは大切。
- ⑪防災では、被害をゼロにできないのでなるべく早く復旧する視点が必要。
- ⑫外国人観光客は言葉の問題もあるため別途帰宅困難者対策が必要。
- ⑬帰宅困難者の一時滞在施設が足りないので神社仏閣等との協力も必要。

## 2. 20年後の望ましい姿（案）

自助・共助・公助の連携により、地域の防災力が向上し、地震・水害をはじめとする災害に、迅速かつ的確に対応できる体制が整っています。

また、防犯意識の高まりや、人々のつながりと支え合いにより、犯罪に強い都市が形成されています。

そして、災害や犯罪の危険から、区民や来街者の生命と財産が守られ、日々の暮らしの安全・安心が確保されています。

## 健康分野 20年後の望ましい姿（案）

### 1. 審議会・小委員会での主な意見

- ①区内の問題だけではないが、小児科や産科などの医師不足という課題がある。
- ②人口の伸びとともに出産できる病院もある程度確保しておかなくてはいけない。
- ③医療と障害、高齢のサービスの連携も課題。
- ④高齢・障害・保育を縦断できるような人材育成が重要。
- ⑤在宅療養の支援体制をどうしていくかが大事。
- ⑥台東区は自殺率が高いので、その対策は必ず必要。
- ⑦生活習慣病予防等は全世代に繋がる施策展開が必要。
- ⑧健康と福祉は切り離せない。

### 2. 20年後の望ましい姿（案）

区民が、生活の質の向上と健康寿命の延伸をめざして、地域で互いに支え合いながら、心と体の健康づくりに取り組んでいます。

また、区民の多様なニーズに応じた、質の高い地域医療体制の整備や、健康危機への対策が更に充実し、区民の健康を支え、守るための環境が整っています。

そして、全ての区民が安心して、健やかに暮らしています。

## 福祉分野 20年後の望ましい姿（案）

### 1. 審議会・小委員会での主な意見

- ①地域包括ケアシステムで最も大切なのは本人と本人を支える家族の心構え。
- ②地域包括ケアシステムにおいては官民の情報連携が必要。
- ③これからの課題は、ケアマネージャーの育成。
- ④認知症は治らない病気なので、これとどのように付き合っていくかということが大事。
- ⑤認知症の患者が増えている。
- ⑥高齢者の住まいの問題はしっかりと対策をたてていく必要がある。
- ⑦障害者と高齢者の共生。
- ⑧各地区にサロンがあると元気な高齢者がますます元気になるのではないか。
- ⑨準認知症予備軍の方や軽度認知障害とされている方など、これからは治る認知症への対策も重要。
- ⑩介護現場で働く人の育成・確保が必要。
- ⑪障害者の相談支援体制強化が必要。
- ⑫健康と福祉は切り離せない。

### 2. 20年後の望ましい姿（案）

自立した生活と社会参加を地域全体で支える、包括的な支援・サービスの提供により、誰もが住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らし続けることができる環境が整っています。

そして、区民一人ひとりの尊厳が守られ、誰もが社会の大切な一員として生きがいを持って活躍し、自分らしい生活を営んでいます。